

4/18に東久邇宮記念賞授与式 全国からの169人に賞状手渡す 当社金岡会長が推薦委員



当社金岡会長が推薦委員を務める東久邇宮記念会(会長・吉村靖弘氏)主催の平成30年度東久邇宮記念賞授与式(写真)

が4月18日午前10時から大阪ガーデンパレス(大阪市淀川区)で開かれ、被表彰者233人のうち、全国から出席した169人に吉村会長から賞状が手渡されました。金岡会長が推薦した11人が出席しました。同授与式が大阪で開かれるのは、これが4回目。

東久邇宮記念会とは、故・東久邇宮盛厚殿下と創設者・豊澤豊雄の思想・哲学である「発明には上下貴賤の別はない、みんな尊い。ノーベル賞を百とるより、国民一人一人が小発明をすることの方が大切だ。一億総発明運動を起こしたい」という理念を継承し、昭和38年に発足したもの。

この趣旨に基づき、東久邇宮記念文化褒章(11月3日に授与)と東久邇宮記念賞(4月18日に授与)を授与しており、「高松宮賞」「秩父宮賞」と並ぶ三大宮様賞の一つ。

トピックス

池田泉州銀行東大阪支店八戸ノ里出張所 4/18に新規開設・営業開始



当社の主取引銀行の池田泉州銀行が東大阪支店の八戸ノ里出張所(東大阪市下小阪5-2-2)を4月18日に新たに開設、営業を始めました(写真)。

近鉄奈良線八戸ノ里駅周辺の開発に伴い、同駅前にあった東大阪支店を昨年8月に河内小阪駅前に移転し営業を行ってきたが、同開発に伴う集客力の向上を見越して出張所を開設したものだ。

同出張所は、同日に八戸ノ里駅前にオープンした、食品スーパー・ライフを中心とする複合商業施設・天正第一ビルの1階にあります。これにより東大阪市内の有人店舗は3カ店体制となりました。

CS研究会会員だより

坪内美樹さんの出版記念パーティー 4/18に約200人が参加して開催



合同会社坪内美樹事務所代表・坪内美樹さんの『ハッピーボイス健康法』(あいり出版刊、四六判、235頁、1400円+税)「出版記念パーティー」が、4月18日午後6時半から大阪ガーデンパレス(大阪市淀川区西宮原1)で約200人が参加して盛大、かつ和やかに開かれました(写真)。

発起人代表・幸南食糧(株)西修会長の挨拶で始まったパーティーは、市立尼崎高校ブラスバンド部の演奏はじめ、ハーモニカ演奏、フルート・ハープ演奏に合わせて坪内さんの朗読、など手作り感いっばいの楽しいもので、アツという間に2時間半が過ぎ去りました。

雑学手帳

「727」って“なにを”の？

平成15年12月12日に創刊した「週刊カナオカ通信」が今号で727号となりました。これも偏に皆様方のご愛読の賜と感謝申し上げます。ところで「727」と言えば、東海道新幹線で車窓から景色を眺めていると、白地に赤字で「727」と書いた、シンプルながらインパクトのある大きな“謎の”屋外看板(写真、最大で横10m×縦5m)が目飛び込んできて、ふと「何の看板？」と疑問に思った人も多いのではないのでしょうか。



これは1945年創業の、主に美容室向けの化粧品メーカー・(株)セブツセブン(大阪市中央区)の看板で、1979年に初めて設置し、現在では5～7分に1本見えるペースで設置されているとか。東海道新幹線のほか、山陽、上越、東北の各新幹線沿線にも設置されており、“沿線名物”になっているようです。ちなみに「727」は、創業者の誕生日の7月27日にちなんで社名としたもの。

常岡一郎一言
人生の嵐に処する道

人生の嵐は多い。思いもかけぬ不幸にも出合う。誤解されることもある。すべては人生の嵐である。その中に処する道は、自分の上機嫌を失わぬこと、妙にかたくならないことである。これが人の機嫌をなおす第一条件だと思う。

(常岡一郎著 致知出版社刊)